

「みんなで つくる 楽しい忍小」

☆ちようせんしよう！☆つなごろう！☆学びつづけよう！

しのぶ しょう っう しん 忍 小 通 信

令和5年度 第18号

令和6年3月1日発行

四條畷市立忍ヶ丘小学校

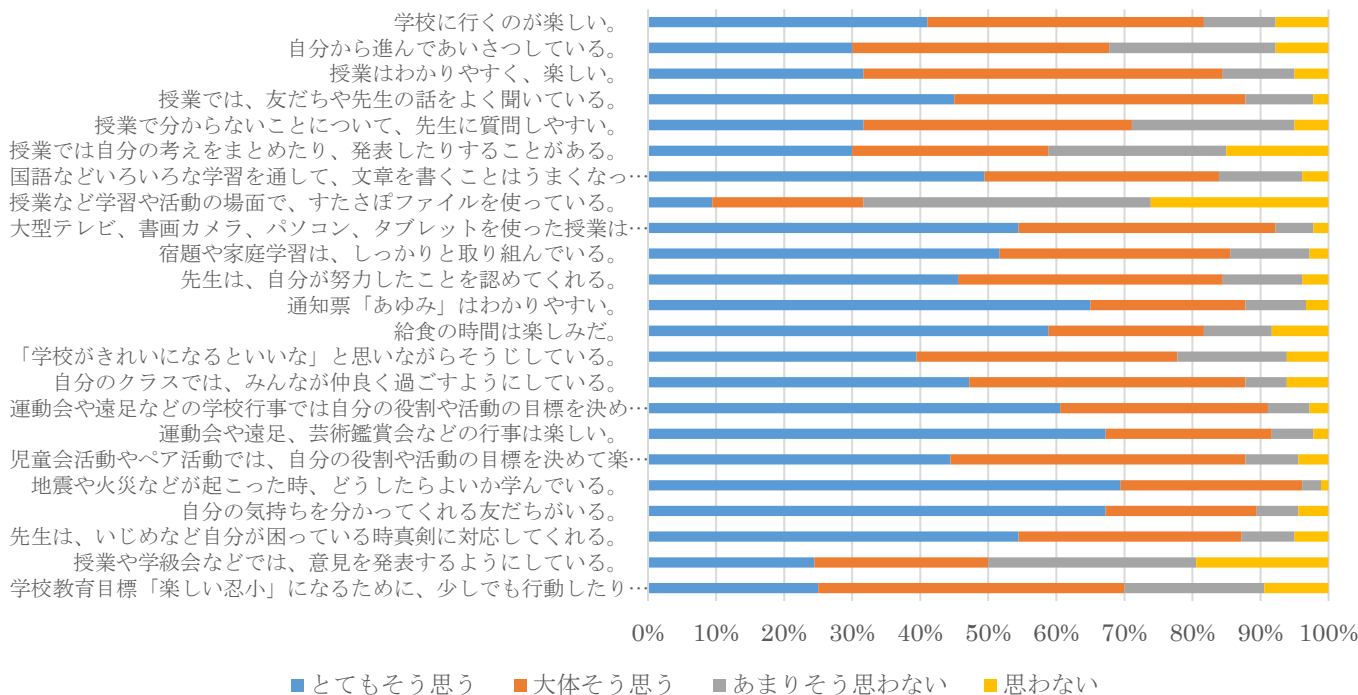
校長 香村 紀子

がっこうきょういく じ こしんだん けっか 学校教育自己診断アンケートの結果

せんじつほごしゃ きょうりやく がっこうきょういく じ こしんだん しゅうけいけっか つた
先日保護者のみなさまにもご協力いただいた「学校教育自己診断アンケート」の集計結果をお伝えいた
たします。

じどうたいしゅう たいしゅう がくねん
【児童対象】 (対象:4~6学年)

令和5年度学校教育自己診断アンケート(児童)



【特によかったと評価できること】 (%は、肯定的評価)

⑯運動会や遠足などの学校行事では自分の役割や活動の目標を決めて楽しく活動できた。 91.2%

⑰運動会や遠足、芸術鑑賞などの行事は楽しい。 91.6%

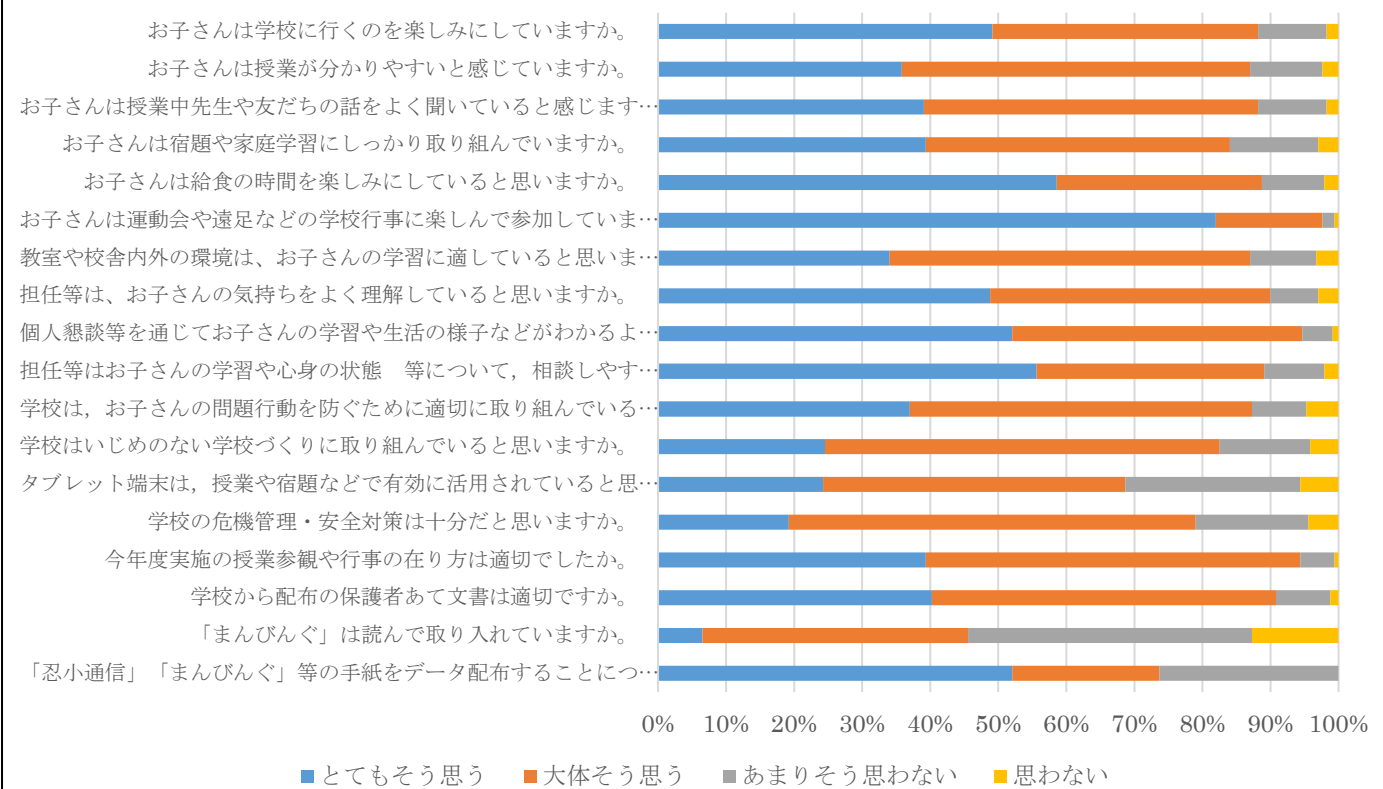
➡ 学校行事は子どもたちが楽しみにしている活動であることには間違いありませんが、その活動に対してそれぞれの役割を果たした実感があるかどうかを問いました。⑯の問いに対して、高い肯定的評価であったことは、ただ用意された場を楽しんだのではなく、自分たちでその楽しい場面をつかったという実感があるのではないかと考えます。本当の「楽しい」に近づいた場面だったのですね。

【特に課題があること】

- ⑥授業では、自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある。 58.9%
- ②授業や学級会などでは、意見を発表するようにしている。 50.0%
- ➡想定していたより低い肯定的評価でした。今年度は書く力のなかでも「説明力」に焦点を当ててその力を育てています。子どもたちは書いて説明することはうまくなってきているのですが、それを話すことで伝える、ということに自信がもてないのかもしれませんが、「発表する」というより積極的に「意見交換」する場面を適切に設定する工夫が必要だとわかりました。

【保護者対象】

令和5年度 学校教育自己診断アンケート（保護者）



【特によかったと評価できること】

- ⑥お子さんは運動会や遠足などの学校行事に楽しんで参加していますか。 97.7%
- ⑮今年度実施の授業参観や行事の在り方は適切でしたか。 94.3%
- ➡今年度の春に新型コロナウイルス感染症がインフルエンザなどの感染症と同じ扱いとなったことを受けて、学校行事の在り方等を再検討しながら行ってきました。単純に「前と同様に」とは考えず、その行事等の実施目的やその効果などから見直しながら行っています。子どもたちにとっても保護者のみなさまにとっても、「楽しみ」にできる行事であったと捉えられることで、方向性は間違っていなかったと考えます。今後もよりよいあり方を検討しながら、実施していきたいです。
- ⑧担任等は、お子さんの気持ちをよく理解していると思いますか。 89.9%
- ⑨個人懇談会等を通してお子さんの学習や生活の様子などがわかるように家庭と連携ができていますか。 94.5%

⑩担任等はお子さんの学習や心身の状態等について相談しやすいと思いますか。 89.0%

➡担任を始めとする本校教職員と保護者の方々との連携についての項目では、高い肯定的評価を受けました。保護者の方々からお話いただくことによって、一緒に考えるチャンスをいただいている、ということなのではないか思います。小学校の6年間で子どもたちは見違えるほどに成長します。そしてその成長段階において様々な課題に向き合いながら大きくなります。子ども、とは言えそれぞれに考え、悩み、子どもなので、うまく解決できずにいることもたくさんあります。そんな時に、保護者のみなさまと学校の教職員とがうまく連携し、子どもたちを見守り、支え、導いていくことができるといいな、と思います。今後ともよろしく願いいたします。

【特に課題があること】

⑬ タブレット端末は、授業や宿題などで有効に活用されていると思いますか。 68.7%

➡子どもたち対象のアンケートでは、「タブレット等 ICT 機器を活用した授業はわかりやすい」と肯定的評価をした子どもは92.2%と多く見られました。授業の中で、タブレットを活用する場面はどんどん増えており、特別なことではないという印象です。スクールタクトを使って、意見交流したり、まとめ活動を行ったりするなど活用場面は広がってきています。同時に、使い方については気をつけたいことも出てきて、「ICT 機器やインターネット等をどのように活用していくか」や「自分や他人の権利を守りながら有効活用するために必要な知識やモラルを身に付けていくにはどうしていくか」など課題はたくさんあります。

今後、子どもたちと共に学ぶ機会を設定していきながら、より有効に活用していくよう工夫していきたいです。

【学校からのおたよりについて】

⑰「まなびんぐ」は、読んで取り入れていますか。

◆読んでいて内容を取り入れてみた、又は今後取り入れてみようと思う 45.6%

⑱「忍小通信」「まなびんぐ」等の手紙をデータ配布することについて

◆データ配布のみで充分 52.1%

◆紙配布とデータ配布の併用がよい 21.6%

◆従来通り紙配布がよい 26.3%

➡予想以上にデータ配布について肯定的な回答が多かった、という印象です。「まなびんぐ」だよりは、実はカラーの方が読みやすく、楽しく読むことができるよう担当者が工夫して発行しています。しかし、紙配布だとカラー印刷ではないため、伝わりにくいこともあったかもしれません。忍小通信とともに学校 HP にもアップしていますので、そちらもご覧ください。

今後は、まちこみメールなどのツールも活用しながら、配布の仕方を検討していきます。

令和5年度学校教育自己診断アンケートの回答にご協力いただきありがとうございました。昨年続き2回目のWEB回答によるアンケートでした。今年度は欠席連絡にまちこみメールを活用し始めるなど、保護者の方と学校との連絡手段が増えた年でもあります。そのためか、昨年度より多くの方に回答にご協力いただきました。ありがとうございました。

再度検討が必要な項目だけでなく、肯定的に評価いただいた項目についても、次年度に向けて見直しを図っていき、よりよい忍小にしていきたいと考えています。